

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和5年4月7日

【観測結果（調査日：3月29、30日）】

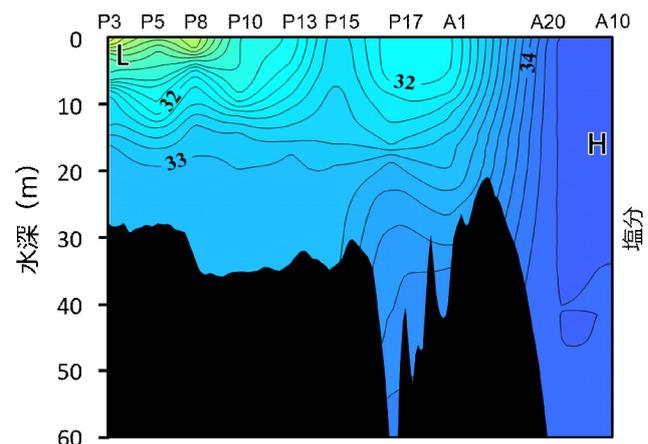
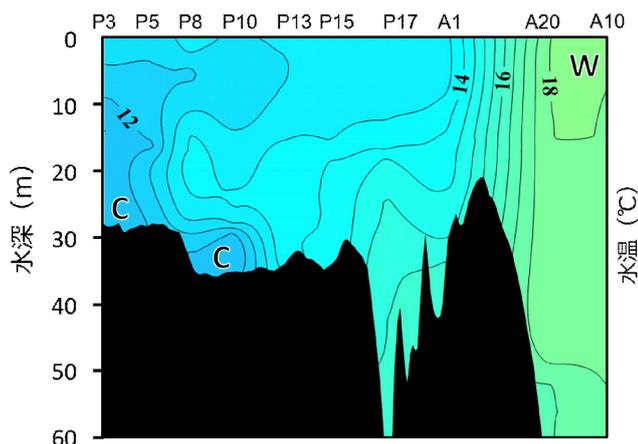
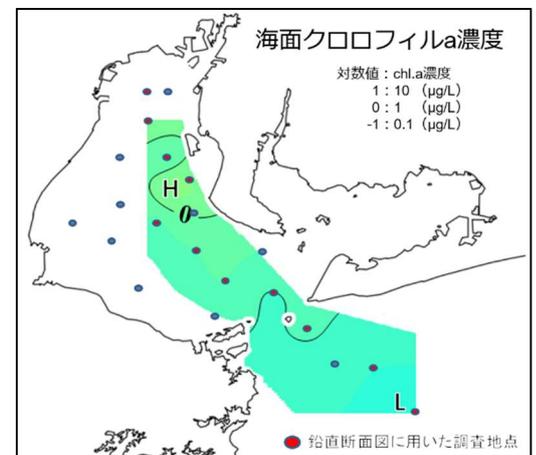
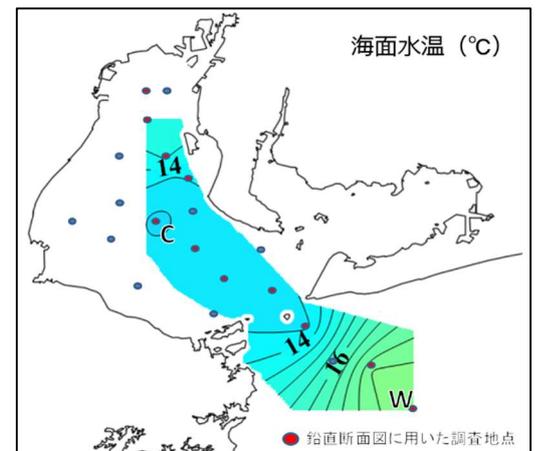
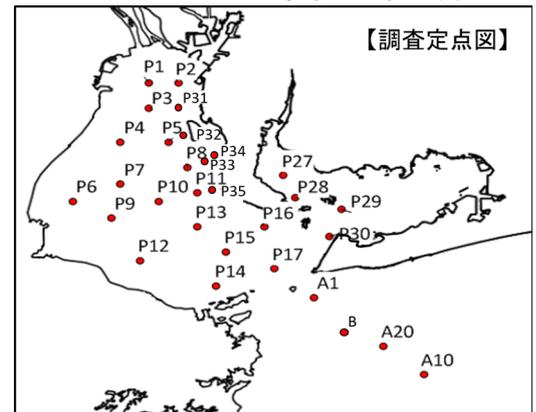
3月29日に伊勢湾、30日に渥美外海の観測を実施しました。海面水温は12.9℃から18.4℃となっており、伊勢湾から渥美外海に向けて水温が高くなっています。黒潮の本流が遠州灘に接近している影響により、渥美外海が高温傾向になっています。

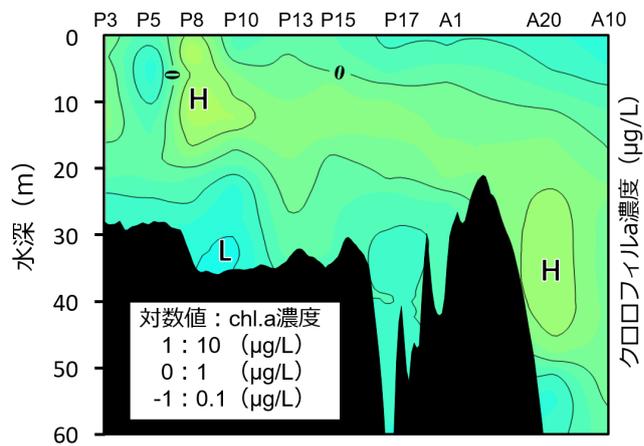
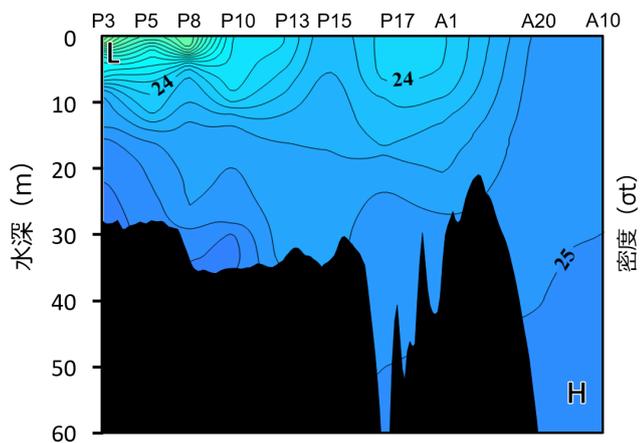
海面のクロロフィル a 濃度は、伊勢湾の湾奥から湾央で高く、渥美外海で低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

伊勢湾における湾奥（P3）から湾央（P8）にかけては、表層に低塩分の河川由来の水が分布し、湾口に向けて混合されています。伊勢湾の表層から底層までの水温は比較的低温で、鉛直混合が行われています。一方、外海は、黒潮本流からの暖水波及により A20～10 の水深約 40m まで高温・高塩分水が分布しています。

クロロフィル a 濃度は伊勢湾湾央の 10m 層から外海の 30～40m 層にかけて比較的高濃度となっています。





※図中の値は常用対数值です